

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成29年12月14日
主管学校名	宮城教育大学附属幼稚園
P T A会長名	曳地 久美 (幼稚園) 小平 陽子 (特別支援学校)

実施概要	主管校	宮城教育大学附属幼稚園
	交流校	宮城教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	宮城教育大学附属特別支援学校訪問
	実施日時	平成29年10月5日 (木)
	実施場所	宮城教育大学附属特別支援学校
	実施目的	幼稚園保護者が支援学校を訪問し、生徒や保護者、教師と交流を深めることにより、実際の支援学校に対する理解と知識、教養を深め、12月と2月に行われる園児と生徒の交流基盤を作ることを目的とする。
	実施内容	幼稚園保護者が支援学校を訪問し、高等部の授業見学、製作品販売、副校長先生による講話、校長先生や先生方から卒園記念品や支援学校についての説明、支援学校保護者と直接の交流を行う。
	実施方法	幼稚園から貸切バスにて支援学校まで、片道約30分で移動する。校舎内で授業の見学、販売、製作品の説明等を受ける。その後、体育館へ移動し、副校長先生より講話を受ける。
参加人数	幼稚園保護者41名、特別支援学校 (保護者6名、高等部生徒約20名、教師6名)	

報告事項	内容	<p>貸切バスにて支援学校を訪問しました。幼稚園保護者が3グループに分かれ、グループごとに先生と支援学校保護者が数名で案内をしてくださいました。</p> <p>①沖縄への修学旅行を控えている高等部2・3年生生徒の「修学旅行事前学習」の授業風景を見学しました。沖縄にちなんだ歌を歌い、研修先の地図を電子黒板で見つ、声に出して店の名前や目印となる場所を確認していました。(活動記録写真①参照)</p> <p>②グループごと「木工班」「総合サービス業班」「陶芸班」のそれぞれの教室を順に約1時間見学しました。途中、コースターの製作品販売もありました。今年度は支援学校が50周年にあたり、記念品製作のため、一般販売する製品が少ないことや、その分、革や陶芸、木工などあらゆる素材で、生徒総出でコースターを製作している説明を受けました。先生方が使用する似顔絵入りの名刺も作成しているそうです。(活動記録写真②参照)</p> <p>③卒園記念品製作を指導なさる「技術」が専門の校長先生より、卒園記念品の木製ペン立てについて製作過程や園児一人一人に選んでもらうステンシルの型、道具の説明を受けました。(活動記録写真③参照)</p> <p>④副校長先生より約30分「『良いこと・悪いこと』の理解」の講話を聴講しました。</p> <p>バスにて幼稚園へ戻り、保護者アンケートを実施いたしました。(活動記録写真④参照)</p>
	結果	<p>生徒さんたちの活動する姿を実際に見学して、学校の環境を知ることができ、良い理解につながりました。</p> <p>①修学旅行事前学習においては、先生方が生徒一人ひとりの様子で立ち位置を変え、声掛けの音量や口調を変えていらっしゃいました。実際の授業風景を拝見することで、個人に寄り添った教育現場を感じることができました。</p> <p>②コースター販売の際、売り切れで購入できなかった保護者からは、来年こそ作品を購入したい、という意見が多く、支援学校の先生方も「生徒の意欲につながります。」とお話しされておりました。</p> <p>③卒園児の保護者は、卒園記念品について詳しく知ることができ、作り手の気持ちと、受け取る側の気持ちを大切にしたいという意見がみられました。</p> <p>④副校長先生の「『良いこと・悪いこと』の理解」の講話を聴講し、障がいの有無にかかわらず、子どもに対し、親が言葉にして良いことも悪いことも伝えることの重要性を再確認いたしました。ただ、その伝え方一つにしても、子どもの特性によって言い方や、伝えるタイミング、話題の運び方には差があり、親は根気強く伝え続けることが大切だと教えていただきました。</p>
	所感	特別支援学校は幼稚園から、貸切バスで片道30分の位置にあります。当日の天候や、公共交通機関を利用するとさらに時間がかかります。参加保護者の中には未就園児連れもあり、貸切バスが無ければ参加者数は減少していたことが予想されます。しかし、参加保護者の感想の通り、学ぶことの多い企画となっており、カンガルーシップ助成金によりバスを借りることができました。この事業により、貴重な学びの機会をいただき、有意義な交流ができたことに感謝いたします。

添付書類

活動記録写真1枚、参加者感想(保護者)1枚、参加者感想(高等部生徒)1枚、収支決算書1枚
領収書添付シート1枚:合計6枚(本紙含む)

カンガルーシップ活動

共生プロジェクト 活動記録写真

報告日	平成29年12月14日
主管学校名	宮城教育大学附属幼稚園
PTA会長名	曳地 久美（幼稚園） 小平 陽子（特別支援学校）



①修学旅行の事前学習の様子



②特別支援学校50周年記念品と名刺



②陶芸班の作品



②木工班の説明を受け、コースターを購入



③卒園記念品サンプル



④田野崎副校長先生の講話を聴講中

活動記録写真

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年12月14日
学校名	宮城教育大学附属幼稚園
学年	宮城教育大学附属 特別支援学校 高等部2, 3年生

- ・いつもはいない大人が大勢いて、ドキドキしました。
- ・緊張したけれど、楽しかったです。
- ・上手に修学旅行の歌を歌えて良かったです。拍手をしてもらえてビックリしました。
- ・作品を買ってもらえて嬉しかったです。
- ・（幼稚園保護者が）すぐに帰ってしまうので、残念です。

カンガルーシップ活動

共生プロジェクト参加感想

提出日 平成29年12月14日

学校名 宮城教育大学附属幼稚園

- ・授業の内容を見ることが出来て良かったです。「技術」の教科が専門の校長先生による木工のお話も楽しかったです。
- ・学校見学も、講話も、全て良かったです。来年も参加したいと思います。
- ・校長先生より直々に作業についてのご説明をいただき、学校の方針についての理解が深まりました。
- ・作業場のみならず、中等部と高等部のクラスルームを拝見でき、謎だらけに感じていた生徒の方々の日常を少しですが垣間見られとても良かったと思います。
- ・(子どもが幼稚園に通う)3年間で1度も参加したことがなかったので、良い機会でした。
- ・年に一回の貴重な機会で良かったです。卒園記念品を見せてもらえるのでありがたいです。
- ・昨年と同様で工作の技術が素晴らしかったので購入しようと思いましたが、既に完売してしまっていたので残念でした。来年に期待したいと思います。
- ・時間が限られているので難しいかもしれませんが、副校長先生のお話をもっと聞きたかったです。
- ・授業内容や作業内容が分かったので良かったです。素敵な作品ばかりで見学するのがとても楽しかった。
- ・普段見る事の出来ない支援学校内の見学、そして生徒さんが取り組んでいる作業を聞く事ができ、その作業作品が幼稚園の卒園記念品になっていると知り感激しました。附属全体の関わりを知ることができました。附属ならではの企画です。ぜひ附幼3年間のうち一度は参加するとよい企画だと思います。
- ・ゆっくりと見学ができました。特支の先生やPTAの皆様と直接お話をすることができたので、貴重な経験となりました。
- ・特支の皆様とふれあうことができ、より身近に感じることができる良い企画だと思います。
- ・校内授業見学では貴重な体験をさせていただきました。生徒さんの学びの場、学びの姿の見学ができて良かったです。
- ・講話は、子連れ参加者にとって、時間的にもちょうどよかったですと思います。全体的に大満足でした。
- ・宮教大や附特の中に入れたり、為になる講話を聞けたり、とても楽しい内容でした。
- ・今後も続けていただきたいと思える内容でした。卒園記念品ができるまでの工程や、どのような様子で作っているのかを知ることができ、子供に教えてあげようと思いました。
- ・私自身、特別支援学校との関わりが少ないので、このような機会を与えていただき、ありがとうございました。生徒さんたちの作品がとてもすばらしく感動しました。
- ・先生方が生徒さんと一体になって親身に接していらしたのが印象的です。家庭でもこうありたいと思いました。子供たちの作品のクオリティの高さに感心しました。全ては社会に出ていく準備という基本を思い出すことができました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・なかなか訪問できる場所ではなかったので、とても良い機会になりました。
- ・普段障がいがある方と接する機会が少ないため、今回の訪問でどのような教育を受けて社会に出ていくのか、身近に感じることができました。
- ・特別支援学校の生徒さんの様子や活動内容等作業について知ることができ良かったです。
- ・特支での授業風景など、今までに見学したことのない学内風景を見ることができ、勉強になりました。
- ・教室に入らせていただき、たくさんの作品を見ることができ、良かったと思います。生徒さんが作成していた先生方用の、先生ご自身の似顔絵入りの名刺がとても印象に残りました。
- ・副校長先生の講話テーマである「良いこと・悪いこと」は、今の自分にぴったりの内容で、とても心に残りました。基本を教えるということは、難しくても毅然と伝えなければならないと改めて思いました。
- ・今、現在の子育てに参考になる講話でした。良いこと・悪いことの内容は、どの年代の子供にも通じる話でした。とても良かったです。
- ・副校長先生の温かいお人柄と共に、ゆるぎない教育理念をお持ちでおられることが伝わってくる、とても心に響くお話でした。自らの育児においても大変参考になりました。
- ・講話の内容から、自分自身が我が子を叱る際、理由までしっかり伝える事が少なかったと気づき反省できました。根気よく丁寧に続けていこうと思います。
- ・現在、子育て(しつけ)に悩んでいたところだったので、先生の講話を聞いて良かったです。その子の性格・気質を例に出し、パターン別での注意の仕方なども勉強になりました。
- ・副校長先生のお話のおかげで、普段の子どもとの関わりを見直す良い機会になりました。当たり前のことを丁寧に伝えることを大切にしようと思いました。
- ・子供が良いことをした時、私の方を見てほめられるのを待っている事が気になっていました。副校長先生のお話を聞いて、褒める時も具体的に理由を言ってあげればいいのかと思いました。